

【保護者様向け評価表 集計結果のご報告】

平素より当施設をご利用いただき厚く御礼申し上げます。

今年1月に保護者様に配布致しました 評価表の集計結果をご報告させていただきます。

今回ご記入いただきました「ご意見」について 職員会議で改善策を話し合いました。

ご不明な点や心配な点についてご意見を頂いた保護者様と、「いいえ」を選択された保護者様には、個別に解答致しました。

今後も、ご不明な点やご要望などございましたら、職員にお伝えいただければと思います。

職員一同、利用者様にとってより良いサービスのご提供に努めて参ります。

子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。

→放課後等デイサービス・児童発達支援共に必要なスペースの基準を満たしています。筑紫神社前校の建物は全体が広く作られているので、お子様が密集して衝突することなく、一人一人の活動スペースが十分に確保できています。

活発な児童・静かに過ごしたい児童・学習に集中したい児童・ブロック遊びや工作をしたい児童など、

お子様に合わせて活動スペースを分けたり、2階事務室や貸し切り部屋を使って個室を用意しながら環境調整を行っています。

また、土曜・長期休暇中のお天気が良い日は、公園遊びや屋外イベントを積極的に取り入れ、

お子様一人ひとりが安心してのびのびと過ごせるよう配慮しています。（*事業所の見学は随時対応させていただきます。お気軽にご連絡下さい。）

職員の配置数や専門性は適切であるか。

→放課後等デイサービス・児童発達支援共に基準を満たしています。

現在、筑紫神社前校には7名の職員が在籍しています。1日あたり4～5名の職員が勤務しています。

●管理者兼児童発達支援管理責任者：南川悠（精神保健福祉士）

●児童指導員：案浦真澄（介護福祉士）・山崎菜津子・入江賢太・前川洋乃・山口奨一郎（作業療法士） ●指導員：原田千穂

→送迎時など一時的に職員数が減る状況においては、使用する部屋を限定するなど目が行き届かない状況にならない様に配慮致します。

生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか。

→清掃マニュアルを作成し、毎日清掃を徹底しています。

ロッカー・学習室・ブロックやごっこ遊びのコーナー・休憩室など、活動や用途に合わせたスペースを設けています。

文房具や玩具はお子様に分かりやすいように置き場所を明確化しています。危険物や貴重品は、鍵付き収納やお子様が届かない棚で管理しています。

→感染症対策を徹底しています。（常時マスク使用・1時間に一度の換気・手洗い消毒の徹底・各部屋に加湿機能付き空気清浄機の設置）

外部の施設との交流など様々な特性を持つ子どもと活動する機会があるか。

→毎年、はこでみ各校合同でカレー作りやBBQなどのイベントを実施していましたが、今年度は、はこでみ全校参加の「はこでみフェスタ2022」を開催致しました。今後、新型コロナウイルス感染症が終息しましたら、利用児童の保護者様やご兄弟も一緒に活動する機会を多く設けていきます。

科学館や動物園などの公共施設を訪問し、公共のルールを守りながら、他の利用者様とスペースを共有する機会があります。

日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができていくか。

→送迎時の申し送りや連絡帳を通じて、主にお子様の良い言動や変化についてお伝えするようにしています。また、支援内容・利用者負担についても随時お答え致します。ご家庭や学校での様子や、気になることなど、お子様の状況について今後も筑紫神社前校の職員にお知らせいただければと思います。

子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されているか。

→お子様や保護者様が不安に思われるようなことがある時は、その内容を詳しくお伺いし、一緒に改善策を考え、職員全体で実行し、安心してご利用いただけるよう対応しています。気になることやご要望がございましたら、今後もお知らせいただければと思います。

●苦情解決窓口担当者：南川悠 ●苦情解決責任者：祐恒竜也

父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。

→毎年、はこでみ各行合同でカレー作りやBBQなどのイベントを実施していましたが、今年度は、はこでみ全校参加の「はこでみフェスタ2022」を開催致しました。緊急事態宣言期間を除いて、毎月保護者様を対象にしたペアレントトレーニングとフォローアップ講座を実施しています。いずれも保護者様同士の親睦を深める機会としてご好評をいただいています。今後も皆様のご参加をお待ちしています。

緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。

→緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを作成し、職員間で共有しています。

→利用しているお子様全員が避難訓練に参加できるように日程調整を行います。利用者様の安全確保ができるよう職員一同努めて参ります。

→非常災害の発生状況に合わせた事業所の開校・休校・受け入れ等の判断基準を今後ホームページなどに掲載し具体的にお伝え致します。

非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。

→火災・震災・不審者侵入を想定した避難訓練を定期的実施しています。また、救急箱・3日分程度の非常食・モバイルバッテリーなどは各校備えています。防災・防犯・交通安全についてクイズ形式で学習したり、消防署見学を通じて災害時とるべき行動について理解を深める機会を設けています。（裏面に続きます。→）

定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己研鑽の結果を子どもや保護者に対して発信しているか。

→ホームページにて各事業所の連絡先や住所、発達こどもアカデミーの活動に対する理念や緊急時の営業状況、新しい活動やペアレントトレーニング、社員の自己研鑽の為に研修などの報告を随時更新して掲載しています。また、各事業所のFACEBOOKにて日々の活動の詳細を定期的に発信しています。毎月発行している「はこでみだより」では、近々の行事予定や各校の活動報告、お子様に有益な情報などを掲載しお知らせしています。是非ご覧ください。

子どもは通所を楽しみにしているか。

→お子様の良い言動をほめることで自己肯定感を高めたり、お子様の好きな活動を取り入れたりして、筑紫神社前校での活動がお子様にとって心から楽しめるものになる事を最優先として支援を行っています。また、お子様同士の関係性や日々起きるトラブルにおいて不安に思う理由や改善策をお子様と職員と一緒に相談しあいながら、安心して通所できるように努めています。騒がしい空間を苦痛に感じるお子様には一人になれる静かな環境を準備する対応を行っております。お子様の気持ちが満たされる事で、苦手な面に対する前向きな意欲が生まれると捉え支援を行っています。ご家庭でもお気づきの点がございましたら、職員にお知らせいただくと助かります。保護者様・お子様・職員一緒に居心地の良いはこでみを作っていけたらと思います。